

景観まちづくり講演会

榎原が生んだ偉人



西国三十三所名所図会 「八木札街」

令和2年
1月19日(日)

先着順
100名様

午後1時30分～午後3時
(開場 午後1時)

聴講無料 事前申込
不要

会場/榎原市役所分庁舎ミグランス
4F コンベンションルーム

主催/NPO法人 八木まちづくりネットワーク
(HP : <http://yagimachi-net.jp>)

後援/榎原市、奈良県立大学
問合せ/Tel.0744-22-2010 (担当：平田)

講師/谷山 正道 (元天理大学文学部教授)

1952年に奈良県で生まれる。広島大学・同大学院で学び、広島大学文学部助教授などを経て、1991年に天理大学に着任、2017年に退職する。現在、奈良県立大学ユーラシア研究センター(谷三山研究会)客員研究員、公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会研究員などをつとめる。専門は日本近世史、大和地域史。主な著書に、『近世民衆運動の展開』(高科書店、1994年)、『民衆運動からみる幕末維新』(清文堂出版、2017年)などがある。博士(文学)。



谷三山と石河正竜

谷三山

享和2年(1802)に高市郡八木村(高取藩領)の商家に生まれ、10代の半ばで聴力を失いながらも、ほとんど独学で学問を究め、家塾「興讓館」を開いて多くの門人を育成しました。また、高取藩に出仕して、国内外の動きを見据えながら、活発な献策活動を展開しました。三山は、森田節齋にとどまらず、長州藩の吉田松陰なども教えを請いにやってくるほどの卓越した学者でした。松陰は、三山は「師の師たる人」であり、「日本一の大学者」とであると評しています。慶応3年(1867)12月11日に没。



石河正竜(確太郎)

文政8年(1825)に大和国高市郡石川村で生まれ、谷三山の薫陶を受けた後、苦学しながら江戸や長崎に赴いて蘭学を学びました。安政4年(1857)に、開明的な名君としてよく知られる島津斉彬によって薩摩藩士として召し抱えられ、グローバルな視野のもと、幕末・維新时期において、当藩の殖産興業政策の推進に大きく貢献しました。廃藩置県の後には新政府に出仕して、近代産業(なかでも綿糸紡績業)の育成のために奔走し、わが国「近代紡績の父」と称されるまでになりました。明治28年(1895)に没。



同時開催イベント

谷三山 資料パネル展

入場無料、申込不要

日時：令和2年1月17日(金)～19日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

場所：八木札の辻交流館 2階(橿原市北八木町2丁目1番1号)

八木ウォークイベント

参加費無料、事前申込して下さい。当日参加も可。

開催日：令和2年1月19日(日) 少雨決行

時間：集合 午前10時 終了 午前11時30分予定

場所：八木札の辻交流館 前(橿原市北八木町2丁目1番1号)

定員：先着50名(要申込、参加費無料)

申込方法：住所、氏名、連絡先(電話)、参加人数をFAXまたはメールしてください。

FAX 0744-25-6250 / MAIL info.yaginet@gmail.com

問い合わせ：NPO法人八木まちづくりネットワーク 090-1077-3296 (担当 平田)

お申し込みはFAXでも受け付けております。

FAX申し込み用紙

FAX 0744-22-2010

お申し込みはFAXでも受け付けております。この用紙に記入の上、送信してください。定員に達し次第、締め切らせていただきます。この個人情報に関して他の目的で使用することはありません。

参加者のお名前(複数の場合は連名で)	参加人数	人
ご住所	連絡先 お電話	